

秘

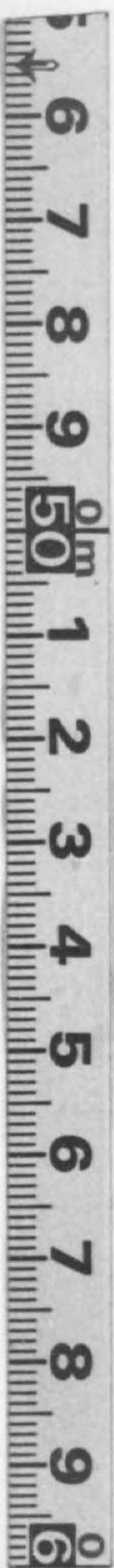


ソ聯に
於ける

共産主義宣傳の組織及び方法

ソ聯研究資料第五號(昭和九年三月)

滿鐵經濟調査會



始



ソ聯に於ける共産主義宣傳の組織及び方法

目次

一、宣傳の根據地としてのソ聯	一
二、共産黨の工作	六
三、宣傳・煽動工作の中央組織	八
四、共産黨の教育組織	一三
五、教育人民委員部	一七
六、所謂「文化細胞」	二二

ソ聯に於ける

共産主義宣傳の組織及び方法

一 宣傳の根據地としてのソ聯

ソウエート聯邦に於て實際的權力を握つてゐるのはソ聯共産黨（ボルシェウイキ）である。であるから、ソウエート聯邦に於ては、政治にしろ經濟にしろ、又外交にしろ教育にしろ、共産黨の指令なくしては行はれない。しかも、ソ聯に於ける共産黨の指令は絶對であり鐵則である上に、微妙を極めたソ聯共産黨の各機關は、上は共産黨中央委員會から下は工場内の細胞に至るまで、鳴物入りでその遂行を宣傳し煽動する。この宣傳及び煽動は、共産黨がロシアに生れてから一九一七年十月政權を奪取するまで、帝政ロシアの申分ない警察に苛め抜かれて來ただけに、實に非難する所のない見事な組織と功妙な方法とを有してゐる。

かうした組織と方法を以て行はれる宣傳及び煽動は、階級敵を打倒し政權を奪取したソ聯に於ては、第一に階級なき社會の——即ち社會主義社會の——建設、第二に之れが

實現手段即ち國の工業化と農業の集團化、第三に此轉化を邪魔する資本家と富農の殘滓との鬭争を目的としてゐる。

だが、それはソウェート聯邦内で彼等が勝手にやる事であるから何うでもいとしてソ聯共産黨は國外に對して黙つてゐるのかと思へば決してさうではない。彼等は、一國だけの社會主義は成立しないと云ふ建前から、是非世界中に共産主義を宣傳煽動しなければならぬと考へてゐる。そこで、全世界に於ける共産主義宣傳の機關として設けられたのが、莫斯科に本部を置く第三國際である。

尤もソ聯としては第三國際を世界に於ける共産主義宣傳機關と標榜する事は出来ないので、名目上、第三國際は世界の共産主義團體であり、ソ聯共産黨は其一支部に過ぎないと云つて居り組織上もさうなつてゐるが、第三國際を支配する幹部會に於て絶大の權力を振ひ世界革命の實際運動を指導する者がソ聯共産黨幹部である事に想到すれば、其實質に於て第三國際がソ聯の世界共産主義宣傳機關であるのは判り切つた事である。

では、かうした使命を有する第三國際は如何なる組織を有するかと云へば、莫斯科に本部を置く第三國際は各國にそれぞれ支部を有して居り、各支部は又それぞれ所屬黨員

を以て組織された細胞を有しており、本部と支部との關係、支部と細胞との關係は中央集權主義を以て一貫してゐるのである。

一九二八年の第六回世界大會の當時に於ける支部數は五六、同情團體は九、黨員總數は四、一一七、六〇五、内一、八九二、三〇五は支部たる各國共産黨員及び同情員の總數でその主なるものは、ソウェート共産黨の一、三〇四、四〇〇人を第一位とし、チエツコ・スロワキヤ、獨逸、佛蘭西等の共産黨之に次ぎ、残り二、二二五、三〇〇人は同じく支部の資格に於て第三國際に加盟せる青年共産國際の總員であつた。

次に中央機關部の構成に就て述べよう。第三國際の最高機關は二年毎に開催される大會で、執行機關としては大會の選舉する執行委員會と國際統制委員會とがある。執行委員會は大會決議の執行機關であり、大會閉會期間中に於ける全事務を指導するもので、少くとも半年に一回委員會を開く。現在五九名の委員及び四三名の委員候補を有する。

大會及び執行委員會は各國共産黨中央機關の決議を修正又は拒否し、黨又は黨員を除名し、各黨の綱領を批准する權能を有する。執行委員會は常務を處理する爲に三〇名の委員と一二名の候補者とより成る幹部會を選舉する。幹部會は二週間に一回會合する。

事實上第三國際の最高政策を決定する機關で、幹部中より互選される政治部は第三國際支配の最高權力で、現在、中歐部、英米部、スカンヂナビヤ部、バルガン部、波蘭・バルチック沿岸部、ローマン民族部、南米部、東洋部の八部を有し、必ず政治部員が部長となり、各支部の諸問題を研究する。國際統制委員會は各國黨員の政治上の意見衝突の結果中央機關の懲戒に處せられたる場合、其黨員の抗告を裁斷し、又同委員會の必要と認め或は執行委員會の提案ある場合に同種の問題を調査し、更に第三國際の財政を監督する任務を有する。

右のやうな組織を有する第三國際が目的とする所は、先にも述べたやうに、世界全體を社會主義化さうとするにあつて、此目的の達成の爲に第三國際は次のやうな手段を取る。

- 一、プロレタリア解放の唯一手段としてのプロレタリア獨裁
- 二、社會民主主義に對する闘争
- 三、植民地及び半植民地の解放闘争
- 四、貧農及び労働者との結合の強化並びに中農の獲得
- 五、協同組合の共產主義化

如上の組織、目的、手段を有する第三國際は其成立後如何なる活躍をしたか。吾人は以下に其概略を述べてみよう。

第三國際の指導者達は、世界大戰直後の歐洲諸國に於ける社會的不安を以て世界革命の機到來せりと思ひ込み、社會的動搖の最も激しかった獨逸の共產黨を援助し、其革命を達成せしめやうとしたが、社會民主黨とブルジョア諸黨との妥協が成立して不成功に完り、獨逸革命の影響を受けてソウエート政府の樹立にさへ成功したハンガリヤ革命も遂に失敗に歸し、此處に第三國際の歐洲革命の企圖は全く水泡に歸してしまつた。

一九二四年に開催された大會は、老大帝國たる英國の打倒と反帝國主義の勃興しつたあつた東洋、就中支那の解放に全精力を傾注すべく決議し、其實行に移つたのであるが、これ又不成功に終つた。

其後、第三國際は世界に於ける資本主義の安定を認めて、直接帝國主義攻撃の手は休めたのであるが、植民地及び半植民地の解放運動、資本主義諸國に於ける労働運動の援助は依然として此を繼續し、一九三二年の總會に於ては資本主義の安定の終焉を決議し又々革命運動促進の積極的活動を開始した。

一 共産黨の工作

共産黨の究極の目的は、先に述べたやうに、共産主義社會の實現であるが、當面の目的は、世界革命である。此の目的達成の爲には、何よりも先づ、全世界の労働階級を結合し強化せしめねばならない。そこで此點から出發して「萬國のプロレタリアよ、團結せよ」と叫んで横の聯絡を計り、「プロレタリアに祖國なし」と唱へて民族國家の廢止を試みるのである。

けれども、世界革命を行ふには、全世界の労働階級を結合しただけではいけない。世界革命を遂行する事は、結局、階級敵たる資本家を打倒する事、國家權力を奪取する事に外ならない。

茲を以て共産黨は、或は資本家階級の思想社會經濟の各方面に於ける缺點を發き出し或は資本主義生産組織より共産主義生産組織への必然性を説く理論を宣傳し、或は植民地及び半植民地に於ける慘狀を誇張的に報道して、労働者階級、被壓迫民族の煽動に努めるのである。

就中、最も恐るべきは、資本主義諸國の軍隊に對する共産黨の宣傳工作である。共産主義者は、常々軍隊を資本主義の牙城と考へてゐるので、資本主義諸國の軍隊の解體には必死の努力をやる。一九一七年の十月革命が成功したのは實にロシヤ軍隊の解體に基因する所が多かつたので、彼等が軍隊に特別な注意を向けるのは蓋し當然と云ふべきである。

さて、かうした共産主義の課題は如何にして實行に移されるかと云ふに、先づ共産主義の宣傳者は、同盟罷工の本部にでも、失業者群の中にでも、職業組合にでも、何處にでもよい、二、三名の共産主義者若しくは同情者を獲得して、所謂「細胞」なるものを組織し、これを自己の命令下におく。すると、共産黨中央委員會及び第三國際の代理機關は直ちに此等の細胞機關に資本を送つて其細胞を強化すると共に、上級諸機關及び並立諸機關との緊密なる關係を設定する。かうして工場の中に組合の中に、交通機關の中に、官公署、軍隊の中に、次から次へと設置される細胞は互に結び合つて、執行委員會の指令に絶對的に従ひ、一糸亂れざる統制の下に、宣傳・煽動を續けて行く。

然らば、ソ聯自體に於ける共産主義の宣傳の狀況はどうかと云ふに、此處では既に階

級敵たる資本家階級が打倒されてゐるので、主として經濟的建設——彼等の云ふ社會主義社會の建設——に全努力が傾注されてゐる。即ち社會主義競争、前衛運動等を起して生産計畫の遂行を宣傳してゐるが、其宣傳が機械的でありお役目的であるので、宣傳の質が著しく低下して官僚化し職業化してゐる。此を昔に比べると甚しい變化がある。往年の共産黨員は、事實、熱があり勇敢であつた。彼等は常に生命を賭して闘つてゐた。レーニンを始め錚々たる幹部自身が民衆の中に這入つて宣傳に従事した。彼等は共産主義の爲に喜んで犠牲となつた。然し此は總て過去の事で、共産黨が政權を奪取してしまつた今日、其氣概は大分失せてしまつてゐる。現在では共産黨員、共産主義宣傳者は、皆ソ聯の官僚として威張り散らし幹部連は特別の場合の外宣傳などはやらないやうである。

唯だ青少年を目標とする宣傳のみは擴張される一方で、彼等の間には「社會主義建設の熱意ある協力者團」や「世界革命の未來の兵士團」なるものが組織せられてゐる。

三 宣傳・煽動工作の中央組織

ソウエート聯邦に於ては、政府の諸機關及び共産黨諸機關は盡くこれ宣傳・煽動機關と稱するも過言でない。上は共産黨大會から下は一工場に於ける細胞に至るまで、宣傳・煽動工作に従事してゐる。乍而、宣傳・煽動を直接の目的とする機關は、最初は、ソ聯共産黨中央委員會秘書局内に設置されてゐた宣傳・煽動部であつた。即ち此機關を通じて中央委員會は全國に於ける宣傳・煽動工作を指揮し指導したのであつた。

此宣傳・煽動部は次の五部より構成されてゐた。

一、煽動部 二、宣傳部 三、地方的經驗研究部 四、文献分配部 五、少數民族部
左に此五部の任務を簡単に記さう。

1 煽動部

黨地方諸機關の政治煽動工作及び生産煽動工作の一般的指導に従事し、地方ソウエート機關及び職業同盟機關の煽動工作の黨的統制を管掌し、當面の計畫的政治工作及び當面の政治問題の爲のテーゼ、スローガン、綱領等の形に於て煽動的指令及び指示を作成する。

2 宣傳部

共産黨地方諸機關に系統的訓令を與へて、黨内部の全宣傳工作を組織し統制し指導す。

3 地方的經驗研究部

地方黨機關の過去の煽動經驗に基き煽動の方法・手段及び形態を研究し、それによつて煽動技術の諸問題を作成する。又地方黨機關の過去の宣傳經驗を研究し組織化して、それに基づいて宣傳の新形態及び方法を作成する。

4 文献分配部

各種黨圖書の蒐集及び補充並びにその分配を行ふ。

5 少數民族部

宣傳煽動機關を有せざる少數民族間に自國語を以てする黨の煽動及び宣傳工作进行し統一す。

以上のやうな組織を以て宣傳・煽動工作が行はれてゐたのであるが、一九三〇年に開催されたソ聯共産黨第十六回大會は、此煽動・宣傳部を廢止してそれに代はるべき獨立した二部を設置した。イ、文化及び宣傳部　ロ、煽動及び大衆運動部、即ち之れである。

今ま左に其工作範圍に就き簡単に記さう。

イ、文化及び宣傳部

此部は文化建設、國民教育、刊行物、マルクシズム・レーニニズム宣傳、黨員の思想的ボルシェウイキ的教育の指導並びに國民教育機關・文化機關・刊行機關・共産主義大學に對する基幹部員の撰擇及び分配を行ふ。

此文化及び宣傳部には其下に更に三班が設置せられてゐる。

一、科學事業及び教育班(藝術を含む)。

二、マルクシズム・レーニニズム宣傳班。

三、刊行物班(新聞及び文學を含む)。

ロ、煽動及び大衆運動部

此部は、大衆煽動の方法・短期及び長期(ソウェイト及び職業同盟の改選運動等、社會主義競争・前衛隊運動・協同契約運動・原價低減運動・勞働生産力昂揚運動・農業集團化運動・播種運動・穀物買付運動及び他の運動)大衆運動の指導及び組織・各種自發的團體の行動の監視・基幹部員の適切なる撰擇及び配置等を行ふ。

此煽動及び大衆運動部の下に更に左の四班が設置されてゐる。

- 一、一般煽動班。
- 二、工業的性質の大衆運動班。
- 三、農業的性質の大衆運動班。
- 四、婦人労働者及び婦人農民間に於ける工作班。

尙此外に中央委員會内にレーニン研究所があり、文化及び宣傳部と共同してレーニニズムの宣傳普及に従事してゐる。

以上記した「文化及び宣傳部」と「煽動及び大衆運動部」は、各共和國、各地方、各區及び市ソウエート、細胞の共產黨機關内に設置せられて、中央部の命令に従つて宣傳し煽動する。そして、「文化及び宣傳部」が主として教育人民委員部の宣傳工作、ソウエート言論機關・活動寫眞・芝居を通じての宣傳工作に従事するとすれば、「煽動及び大衆運動部」は主として大衆宣傳(前記の農業集團化・公債募集・五箇年計畫の宣傳)及び無神論團體、オソアピアヒムなどの如く黨の保護下に在る諸團體を取扱ふのである。

「煽動及び大衆運動部」が特に婦人班を設置してゐるのは興味をひく。尤も以前は婦

人部なる獨立の部があつたのを、今度廢止して此婦人班を設置したのであるが、婦人に對するソ聯當局の態度が覗れるもので、婦人がソ聯の社會生活に於て如何に活躍してゐるかを示すと共に、その反面に於て、ソ聯婦人の知識の水準が如何に低いかを物語るものであらう。

四 共產黨の教育組織

共產黨の教育は取りも直さず共產主義教育である。而して共產主義教育の組織は大衆的黨教育、青年共產黨に於ける政治教育、政治教育局・職業同盟・協同組合及び其他諸機關の夜間労働者教育組織網に於けるレーニニズムの宣傳、マルクス・レーニン主義文獻の出版及び普及、指導的黨基幹部員の養成及び再養成(ソウエート黨學校・共產主義高等學校・マルクシズム講義・黨積極分子教育)を以て其根本とする。

今まソ聯に於ける宣傳及び煽動員養成の高等教育機關を記せば次の如くである。

イ、共產黨政治教育學校、直譯すれば「共產黨及びソウエート學校」であつて、共產黨の組織・精神・國家統治に關する知識を與へ、共產黨及び國家機關の宣傳員、政治教化

員等を得るを目的としてゐる。これに入學する者は全部労働者及び農民であつて必ずしも共産黨員たる事を要しないが、黨員以外の入學に關する詮衡は極めて嚴重である。

ロ、共産黨大學 此共産黨大學は一九三二年九月廿一日附の中央委員會決議によつて一、二を除く外全部「高等共産農業學校」に改組せられたが、ソ聯の政治經濟の分野に於て活躍する基幹部員を養成する最高機關で、中等學校卒業程度の學力を有し、實務上にも十分の經驗あり、勤務成績極めて優秀なる共産黨員又は青年共産黨員に限り入學試験を経て入學を許可せられる。修業年限は普通三ヶ年であるが、二年乃至四年の所もある。

次に宣傳・煽動員養成の特殊教育機關を紹介しやう。

イ、トルマチエフ陸軍政治學校

此學校を卒業したものは赤軍の政治的宣傳者・煽動者として活躍し、ソ聯内に於て隠然たる一勢力をなしてゐる。

ロ、スターリン東洋労働者共産大學

一九二一年四月廿一日莫斯科に創立せられたもので、其任務は、東洋民族の労働者中から、革命闘争及び社會主義建設の實際に於て、マルクス・レーニン的方法を適用し得

る優秀なる黨員を養成することである。此大學はソウエト領東洋民族部と國外東洋民族部の二つに分れてゐる。

ハ、マルフレフスキー西方少数民族共産大學

此大學は西方少数民族の爲に優秀なる黨員を養成する最高學府で十六の部より成つてゐる。入學資格は三年以上ソ聯共産黨に籍を置く労働者及び農民である。創立は一九二一年十一月廿八日。修業年限四ヶ年。授業は自國語を以て行はれる。

ニ、孫逸仙支那労働者共産主義大學

名目上は東洋民族の研究を目的としてゐるが、その實は支那解放闘争の爲め實踐理論共に優秀なる共産黨員を養成するのが目的らしい。修業年限三ヶ年、學生數六〇〇名である。

以上述べたのは特殊な使命を有する共産大學であるが、右の外、尙次のやうな共産主義教授の大學がある。

スウエルドロフ共産大學

州 共 産 大 學

赤色教授基幹部員養成研究所

赤色教授經濟研究所

クルプスカヤ共產主義教育學院

新聞雜誌記者共產大學

夜間共產大學

夜間青年共產大學

青年共產大學

通信共產大學

次にソ聯に於ける教育を實際的方面から見やう。ソ聯に於ては、仕事の過重とか疲勞とか不希望とかは言譯にならない。各黨員及び候補者は、苛烈なる刑罰の恐怖の下に、宣傳的煽動的プログラムの遂行を餘儀なくされる。各黨員は所定の政治教育課程を是非修了してゐなければならぬ。先づ政治學校に普通一人若しくは稀に二人の宣傳専門家がゐて、二十人乃至三十人の黨員候補者に組織的に宣傳教育を施す。更に上級になると共產黨大學となる。これは選拔者に對しマルクシズムの原理を教へ、且ヨリ高度に彼等

を再教育するを目的としてゐる。最上級の學校に學んだ者は、黨最大の俸給を支給され特別住宅に居住し、食糧品も豊富に配給せられる等の特權を有してゐる。

乍而、右のやうな特點があるとは云へ、共產學校の生徒にもやはり悩みがある。共產學校はソウエート學校と著しく異つてゐて、怠惰な者には直に黨よりの給費を中止され退學のやむなきに立至ることも珍らしくないので、此等未來の宣傳者達は終日機械的に勉強をさせられてゐる。

共產學校及び其學生數はソウエート統計表には記載されてゐない。然し「スプートニツク・アギタートラ」誌(一九二九年第十五號)に據れば、一九二八年度に於ける共產學校及び共產研究會の數は四萬五千、學生數は八十五萬人である。

兎も角も、此等の夥しい學生が宣傳・煽動員として社會に送り出され、一方に於てはソ聯内の政治經濟建設の宣傳・煽動に従事し、他方に於ては支那・土耳其等々の半植民地に出かけて行つて宣傳し煽動をやるのである。

五 教育人民委員部(文部省)

ソ聯の各共和國には教育人民委員部なるものがあつて各共和國の教育事業を統制してゐるが、其中全聯邦の教育事業を統制してゐるものは露西亞共和國教育人民委員部であつて、これは最初は次の十部より成つてゐた。

- 一、國家學者會議——プログラム及び方法の中心機關である。
- 二、組織・計畫管理部——一般計畫・組織・監察・豫算・財政の諸業務を取扱ふ。
- 三、社會教育及び工藝教育管理本部——幼年教育、少年學校教育、小兒保護、青少年學校外教育、教育者資格昂揚問題を取扱ふ。
- 四、職業教育本部——經濟各部門及び國家建設の爲の高級労働者養成を指導す。
- 五、政治教育本部——共和國内の成人及び青年間に於ける共產主義宣傳の統一及び指導を主たる業務とす。
- 六、科學研究機關及び博物館管理本部。
- 七、藝術會議——國家の藝術政策を實施し、文學及び其他の藝術に對する國家的及び社會的方法を指導す。
- 八、文献及び出版管理本部——出版物の思想的政治的檢閲の諸形態を統制す。

- 九、少數民族教育委員會——少數民族教育に關する諸手段實施の一般的監視を爲す。
- 十、國立出版所。

以上の諸機關は社會教育の統制機關であると共に宣傳及び煽動の機關である事は明白である。就中、政治教育本部及び職業教育本部は純然たる宣傳機關であつて、前者は青年及び成人層に於ける共產主義の宣傳を指導する任務を有し、後者は總ての上級學校、労働部門、職業學校及び労働者教育機關に於ける宣傳を監督する任務を有してゐる。尙ほ此二部は黨の命令により學校内及び學校外の機關の全活動を獨裁的に指導し、各地方・區に支部を有してゐる。就中、政治教育本部はソ聯全體に約二十萬人の有給役員を有する約十萬の支部を管理してゐる。

右に述べた教育人民委員部の構成は、一九三三年九月十九日附の露西亞共和國中央執行委員會及び人民委員會の決議によつて改組せられたが、その宣傳及び煽動的性質は依然として失はれてゐない。改組は次の點に存してゐる。

イ、國家學者會議

- ロ、教授方法部
- ハ、藝術會議
- ニ、教授基幹部員養成部
- ホ、政治祕書局計算配分課
- ヘ、大衆政治教育工作部

新設された管理部及び部

一、管理部

- イ、小中學管理部——教授綱目、教科書の編成、教授方法の決定、學校の指導、學校經濟、教師の選抜及び其の指導を行ふ。
- ロ、教師養成管理部
- ハ、大學及び科學的研究諸機關管理部
- ニ、圖書館管理部
- ホ、劇場及び娛樂機關管理部

二、部

- イ、幼年教育部
 - ロ、小兒機關部
 - ハ、教授參考品部
 - ニ、成年學校及び講座部
 - ホ、「讀書小屋」「クラブ」「文化の家」及び「文化及び休息の家」部
 - ヘ、博物館部
 - ト、計畫部
 - チ、建設部
 - リ、特殊部
 - ヌ、事務管理及び教育人民委員部祕書局
- 舊制度のままの機關
- イ、國營出版合同
 - ロ、文献及び出版物管理部本部
 - ハ、演劇練習中央委員會

右の教育人民委員部の改組は、これを詳細に検討するときは、總ての社會教育及び學校教育に於ける監視力を強化し、黨教育の煽動・宣傳組織を精巧化する目的のもとに行はれたものであることが判る。

かくて、ソ聯當局は、思想上に於ける黨の宣傳及び煽動を教育人民委員部の手にゆだね、その有力なる武器である藝術表現の諸形態——映畫・演劇・出版・博物館——を全部その處理に委任してゐるのである。而も、これを縦に見るときには、露西亞共和國教育人民委員部は聯邦各共和國教育人民委員部を統制し、聯邦各共和國教育人民委員部はそれぞれ其管轄下の教育諸機關を統制してゐるのである。

尙ほ國民教育の事業には、教育人民委員部以外に、職業同盟も亦た參加してゐる。職業同盟の擔當する所は勞働者階級の普通教育と云はれてゐるが、その實は、政治教育、黨教育の徹底のための宣傳であり煽動である事は明白である。

六 所謂「文化細胞」

黨及び青年共產黨の宣傳・煽動機關以外に、各ソウエート機關に附屬して宣傳・煽動

網が張られてゐる。所謂「文化細胞」が即ちそれであつて、之等は「讀書の家」「赤色レニンの室」「赤色讀書研究會」「赤色酒場」「農民の家」「赤色クラブ」「文盲撲滅學校」「獨學研究會」等の名稱を冠してゐる。「文化細胞」が如何に宣傳的・煽動的性質を有してゐるかは、其使用してゐる參考書が、共產黨中央委員會宣傳・煽動部の發行にかかる「共產黨讀本」「政治學校用讀本」「階級闘争教科書」であるに徴しても明瞭である。

「文化細胞」のうち宣傳に最も役立つてゐるのは、農村に於ける「讀書の家」と都市に於ける「赤色クラブ」である。「讀書の家」は或は研究所、或は集會所、或は演說會場、或は劇場の役割を勤め、あらゆる機會を利用して農民間に政治的宣傳を行ふ。時には又宗教運動の根據地となつて農民の間に根強く植えつけられた宗教心の破壊を企て、時には色々な催し物を行つて農民を引きつける赤色記念祭の式場ともなる。

總じて「讀書の家」は、黨に參加してゐない多數の農民に對して、黨の政策を宣傳し理解せしめて、彼等の最も恐れる農民階級の黨よりの離反を豫防するを以てその主要目的としてゐる。此處では勞働階級と農民階級との結合が常に宣傳され、兩階級の利益の一致が強調せられるのである。

次に「赤色クラブ」「赤色の室」は、主として都市に於ける労働階級に階級の教育を施し、黨の政策を徹底せしめ、黨の敵及び怠業者に對する闘争を吹き込む爲に利用される。一九三〇年ソ聯政府の發表する所に據れば、ソ聯に於ける「赤色クラブ」の現在數は三、五二二、「赤色の室」の現在數は三九、九〇〇〇であり、これに附屬する政治研究團體の數は一三、六〇〇に達するといふ。

尙ほ此外、ソ聯には戰鬪的無神論者聯盟、青年間の宣傳・煽動機關・赤軍内部の宣傳煽動機關などがある。

昭和九年三月二十五日印刷
昭和九年三月二十八日發行

編輯兼 大連市黒礁屯四二
發行人 内 海 治 一

印刷人 大連市東公園町三一
吾 妻 力 松

印刷所 大連市東公園町三一
滿洲日報社印刷所

發行所 南滿洲鐵道株式會社

寄贈



終